

平成30年度全国学力・学習状況調査結果と今後の取組について

4月に実施されました全国学力・学習状況調査（目的：児童の学力〈国語・算数・理科の基礎基本（A問題）と応用力（B問題）〉及び学習状況を把握分析することにより、教育の成果と課題を検証し、その改善を図る）について、本校の主な成果や課題及び今後の取組をお知らせいたします。

- 本校の成果**
- 書く－主語と述語の関係に注意しながら、文を正しく書く。
 - 単位量あたりのわり算とその答えがわかる。
 - 円周と直径の関係がわかる。
 - 学校の宿題をしてくる子どもが多くなっている。
 - 自分には、「よいところがある」と思っている子どもが多い。
 - いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
 - 地域活動や体験活動によく参加している。

本校の課題－主に学力調査から見られた課題

- 国語**・ ことわざの意味や使い方、敬語の使い方が苦手。
 - ・ 文章の構成を考えることが苦手。
- 算数**・ 角の大きさを正しく求めることが苦手。
 - ・ %など、百分率を求めることが苦手。
 - ・ 折れ線グラフの読み取りが苦手。
- 理科**・ 土地の浸食、蒸発、太陽の動きについての理解や文章でまとめることが苦手。
- その他**・ 少し荒い言葉づかいや行動が見られる。

- これからの取組**
- ☆ 文章でまとめる学習や、他教科と関連させた学習内容や学習形態を取り入れる。
 - ☆ 教育相談や生活アンケートを行うなど子供の理解や支援に努めるとともに、子どもの「意欲」を高める活動を継続して進める。
 - ☆ 少人数の利点を生かしながら、一人一人に応じた指導を行っていく。
 - ☆ 継続した反復練習とともに、応用力や表現力の向上に力を入れて取り組む。
 - ☆ 返事、話し方、聞き方、学習用具、ノートのとり方など、学習規律の定着を図る。
 - ☆ 読書習慣を身につける取組を継続する。（週末読書・読書貯金など）
 - ☆ 中学校区で連携し、家庭学習の充実や基本的な生活習慣を身につける取組を継続するとともに、ゲームやテレビ、携帯（スマートフォン）などの使用についても考えていく。
 - ☆ 地域へ出かけたり外部講師を招いたりして生活に根ざした体験活動を重視し、ご家庭や地域の方の力をお借りしながら、地域全体で子供を育てる取組を進める。

年によって学力調査の結果は、全国や県の平均を上回ったり下回ったりします。その年度の子どもたちの実態や数年の傾向を見ながら本校の成果や課題を把握・分析し、子どもたちに必要な力が着実につくよう、全職員、そしてご家庭や地域の皆様と力を合わせて取り組んでまいります。